

感染リスクが高まる

「5つの場面」 に気を付けましょう

これまでの感染拡大の経験から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。一方で、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的と考えられます。新型コロナウイルス感染症の伝播は、主に「クラスター」を介して拡大することが分かっています。これまでのクラスター分析で得られた知見から、感染リスクが高まる「5つの場面」が新型コロナウイルス感染症対策分科会により提言としてまとめられました。

☎ 市保健所 ☎536-2222

1 飲酒を伴う 懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると注意力が低下。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすくなります。
- 敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在するとリスクが高まります。
- 回し飲みや箸などの共用はリスクを高めます。



2 大人数や長時間におよぶ 飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、リスクが高まります。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなります。



3 マスクなしでの 会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染でのリスクが高まります。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されています。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



4 狭い空間での 共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、リスクが高まります。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されています。



5 居場所の 切り替わり

- 仕事での休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、リスクが高まる場合があります。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されています。



【出典】 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室 (<https://corona.go.jp/proposal/>) をもとに大分市が作成



前列左：河合 幸作さん(清さんの長男)
前列中：河合 清さん

市のしいたけ生産者が 「内閣総理大臣賞」を 受賞しました！

令和2年度(第59回)農林水産祭の林産部門において、大分市の河合清さん・河合くにさんご夫婦が、内閣総理大臣賞を受賞しました。12月2日には、市長への受賞報告を行いました。

市役所にお花のアマビエが 登場しました！

11月30日～12月14日、市役所本庁舎正面玄関に、お花でできたアマビエが登場しました。新型コロナウイルス感染症に伴い消費が落ち込む花きのPR活動の一環で展示したもので、市内の花き生産者団体から提供を受け、主に県産の花きを使用してつくられました。

華やかでかわいらしいアマビエに、多くの人が足を止めて眺めたり、写真を撮るなどして、その愛くるしい姿に癒されているようでした。



市長表彰おめでとうございます

全国大会で優秀な成績を収めた4人の市長表彰を、11月25日に行いました。

- 後列左：サテライトオフィスカップ
第1回全日本テコンドームセオオンライン選手権大会
優勝 安部 真弘さん
- 後列右：2020年度全日本ライフル射撃競技大会
優勝 磯部 直樹さん
- 前列左：サテライトオフィスカップ
第1回全日本テコンドームセオオンライン選手権大会
優勝 平松 功多さん
- 前列右：2020年度全日本選抜ライフル射撃競技大会
2020年度ジュニアエアガン大会
優勝 野畑 美咲さん

